

# タオル帽子 心温か

ホット・ハンドむろらん

製鉄記念病院などに寄贈

抗がん剤治療患者用のタオル帽子を製作・寄贈している室蘭のボランティア団体「ホット・ハンドむろらん」（久保いづみ代表）が

14日、製鉄記念室蘭病院（松木高雪院長）に50個を届け喜ばれた。タオル帽子は抗がん剤治療などで毛髪が抜けた患者が利用する。

肌触りや吸湿性が良く、冬は防寒に役立つ。同むろらんのメンバーと、協力する寿町会の老人クラブ・寿楽会の会員合わせて約20人が手縫いした。色や柄がかわいらしく、ひもで大きさを調整できる。この日は久保代表と寿楽会の海野直子さんが同院を訪れ、重共智子副院長にタオル帽子を手渡した。重共副院長は「かわいくて肌に優しい。既製品だと値段が高いので喜ばれますね。患者さんに好きなものを選んでもらい使ってもらいます」と話し、過去数回にわたる寄贈に感謝していた。



タオル帽子を届けた久保代表（写真右）と海野さん（同右から2番目）、受け取った重共副院長（同左から2番目）ら

この日は東日本大震災被災地の仙台医療センターにも60個送った。久保代表は未使用のタオルや縫い手を募集している。問い合わせは久保さん、携帯電話090・3398・5435へ。

（成田真梨子）